



様式第2号

令和元年11月6日

坂戸市議会議長 様

会派名 日本共産党

代表者名 新井文雄



実施報告書

下記のとおり、調査研究等を実施したので報告します。

記

- 1 期 日 令和元年10月23日(水) 午後1時30分～3時30分
- 2 参加者氏名

新井文雄	吉岡茂樹	鈴木友之	平瀬敬久

- 3 調査研究等の行き先及び内容

行き先	内 容
坂戸市役所 全員協議会室	坂戸市議会議員研修会 「2019・2020のレガシーと本県スポーツの未 来」

- 4 概要

別添のとおり

令和元年度 議員研修会報告書

会派名 日本共産党

- 1、期日 令和元年度10月23日 午後1時30分～
- 2、研修内容 2019・2020のレガシーと本県スポーツの未来
講師：久保正美 埼玉県県民生活部 スポーツ局 参与
- 3、参加者 4名全員
新井文雄、吉岡茂樹、鈴木友之、平瀬敬久

4、結果（参加者意見、感想）

○学校体育の発展に力を入れ取り組んできたことで、多くのアスリートを輩出しリオデジャネイロオリンピックでは埼玉県ゆかりの選手が過去最高のメダルを10個獲得し、東京オリンピックに向けた選手強化事業では、埼玉ゆかりの選手へ特別強化費として40万×60人に支給しスポーツ科学による支援を行っている。こうした事業が埼玉の選手層の厚さを実現している。

また、パラドリームアスリート埼玉の事業として、特別強化費50万円、出場選手30人を目指している。

○ラグビーワールドカップ2019日本大会の誘致に向け、熊谷にラグビー専用スタジアムを整備するなど県がどのように事業を進めてきたのか理解できた。大会では、地元自治体と連携し2千万人を超える観客を同スタジアムに誘導するのか送迎バス等のルートの構築。また、ラグビーによる集客により地域活性化に寄与している。

○世界に誇れるおもてなしとして紹介されたのが、「埼玉県版ホームステイ」で、各国選手役員の家族等をホームステイで受け入れるというもので、県内670の家庭が登録し、6回実施された体験会には68の家庭が協力し95人の参加があったことは興味深い。

○こうした大きな事業は、国や県がメインであるが、スポーツの分野で発展している埼玉県の中で地方自治体のできることは予算的に限られてくるが、スポーツに親しむ機会の原点としての学校体育の重要性を認識した。